



12月中旬、3学年の課題研究「ソーシャルビジネス」では、新宿区市谷本町にあるJICA 地球ひろばを訪問しました。4月下旬の第1回目の訪問では、地球体験学習コーナーの地球体験学習と体験ゾーン見学を通して、日本と世界のつながりや、開発途上国に対する理解を深める活動をしてきました。そして第2回目は食のゾーン（食堂）を訪問して、開発途上国の食とフェアトレードについて理解を深めてきました。

開発途上国の食では、実際に昼食をとり、定価 700 円のメニューにつき 20 円が開発途上国の子どもたちの給食 1 食分として寄付される TFT (Table for Two) や、同じく定価 700 円の中から 20 円を NPO 法人難民支援協会 (JAR) を通じた難民支援へ寄付される M4R (Meal for Refugees) について知ることができました。また、フェアトレードについては、さまざまな NGO 団体や青年海外協力隊 OB・OG 等が取り扱っているフェアトレード商品（ぬいぐるみ、小物雑貨、スパイス、チョコレートなど）を身近にみることもできました。

生徒たちは、あまりなじみのないタイ南部で生まれたパネンカレーや、タイ北部からラオス北部まで広く食べられている麺料理であるカオソーイ、バングラディッシュ風ピリヤニにチャレンジしていました。また、生徒の中にはフェアトレード商品（コーヒー豆やチョコレート）を購入した生徒もいて、これらの活動が国際協力の第一歩なることを体験することができました。

